

現状・課題

県内「社会福祉施設等における人材確保に関する調査」結果

- 求人を出しても応募がない ※福祉人材センターによる調査
- 採用してもすぐに退職してしまう
- 情報発信の必要性は感じるが、予算も専任担当者もノウハウもない

福祉現場の【人材確保】【定着】
【魅力発信】に手詰まり感

アドバイザーによる助言・成功事例の紹介
(マネジメントコンサルタント) (県内福祉施設)

取組内容

福祉現場の魅力発信～人材の定着までセミナー

《対 象 者》 県内社会福祉施設等の管理職員及び採用担当職員、広報担当職員

《プログラム》 はじめに：『「県内福祉施設における人材確保に関する調査」結果から見てきたこと』〔福祉人材センター説明〕

講義Ⅰ：『福祉現場の効果的な魅力発信について～自施設の魅力、発信を雇用へ～』〔福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程指導者〕

Point 事業所が自施設の魅力を明確化し、求職者に効果的に発信する手法や、時代に即した採用活動のポイントを学び、雇用定着に向けた課題を整理する

講義Ⅱ：『異業種から福祉へ～私の歩みと「ひまわり」の原点』〔県内福祉施設 統括施設長〕

Point 人間関係の課題への対応や信頼関係の構築、理念共有による人材定着と組織づくりの実践例を学ぶ

成果・効果

- 福祉・介護現場における採用力の強化と福祉人材の安定的な確保・定着の一助となる

参加者の感想

- 3つの講義が有機的に関連した効果的なセミナーだった
- 自施設の強みと弱みを分析して施設の方向性を決めることが生き残るポイントだということが理解できた、魅力発信に繋がたい
- 職員を大切に思う気持ちが職員にも伝わるものだった
- オンデマンドで視聴できるようにしてほしい

オンデマンド配信を検討中

